

令和2年1月23日

第2回講演会報告

考える会広報担当 谷田

1月22日午前10時よりなごや生物多様性センターの講演会がナディアパーク市民活動推進センターにて行われました。参加者は43名（内33期生1名）でした。

演題は「堀川と名古屋城外の生き物たち」

講演者は 環境局環境企画部主査 高尾知基様、同生物多様性専門員 野呂達哉様です。

堀川はこのところ水質が良くなり、生息するさかなや水鳥が増えています。一方で飼い主に捨てられたと思われる外来種のさかなやカメなどが増えており、これを捕獲して、在来種の生き物を守らねばなりません。

最初に高尾様よりなごや生物多様性センターについて設立のきっかけ、役割、活動の内容と普及啓発についての話がありました。

次に野呂様より堀川と名古屋城外堀に住む生き物についての話があり、実際に今までに発見された外来種であるワニガメ、トゲスッポン、アリゲーターガーなどの捕獲状況について動画を交えて説明があり、いかに捕獲が大変かを知りました。

実際に現場で担当されている人からの話を聞くことが出来、参加者からもわかりやすいと感想がありました。

我々が日々活動している堀川にもこのような生物が生存していることを知り、堀川に対する見方がまた一つ変わりました。



2009年6月に堀川の筋違橋付近で捕獲された個体
甲長53cm、体重37kgのオス成体

ワニガメ



甲長49cm 体重8.4kg メス

2010年8月22日
市内在住の釣り人によって釣り上げられた

トゲスッポン